

IT 活用による開かれた学校教育

(外部向け北海道で初めてのストリーミング及びオンデマンド配信)

北海道美唄養護学校 教諭 木村 正秀

1 はじめに

光ファイバーで、道立学校297校及び道立の教育機関が2年前結ばれ、全国一のネットワークが完成しました。その利用として、運動会の学習活動をストリーミングで地域、各学校や各教育機関などへ北海道で初めての配信しました。多くの方々は、学校の様子を知りたいという要望をもっていることがわかり、学芸会・高等部祭の様子を北海道で初めてのオンデマンドを行いました。その成果と課題を発表します。

2 運動会のストリーミング配信について

実施日	平成15年6月11日 12時30分と16時
閲覧者	512名
閲覧範囲	インターネット接続可能なパソコン
今後の方向性	地域は学校の様子を見たいことが判明したので、学芸会・高等部祭も地域へ配信する。 時間にとられないオンデマンド配信を試みる

3 学芸会・高等部祭のオンデマンド配信について

放映日	平成15年11月7日から平成15年12月12日まで
閲覧者数	約1550名
閲覧者範囲	全道、茨城県、関東、関西他

北海道で初めてのストリーミング（運動会）の実践では、閲覧者が512名であったが、北海道で初めてのオンデマンド配信は、約1550名の閲覧者を数え、一部の方々は、リサーチにも協力をしていただいた。

成果

- ・一部の学校が校内ストリーミング配信を行い、活動を学校内に紹介することができた。
- ・高等学校と特殊教育諸学校が身近になった。
- ・その場に行かなくても、遠方から閲覧をすることができた。
- ・児童生徒の笑顔の素晴らしさを配信することにより、学校が開かれ、多くの人々から理解と支援が得られるようになる。
- ・各学校が配信を積極的に行うようになり、ますますイントラネットの活用と学校間の交流が盛んになる。
- ・高等学校のシラバスでこの技術を用いることで、保護者への説明がしやすくなる。
- ・この技術を用いると、予習、復習や補講などで、家庭でも教員の学習指導が可能となり、北海道教育の前進となる。
- ・各学校が保有している資源の共有活用が可能となる。
- ・静止画教材から動画教材へ転換期となった。
- ・特別支援教育の実際を動画で視聴することができ、紹介や理解しやすくなる。

4 終わりに

IT 活用を利用すると、距離、時間や場所に左右されないで、様子をつたえることができ、そのデータを更に活用して IT 図書館の構築を推進していきたい所存です。